
巻 末 資 料 編

北 海 道 駒 ヶ 岳

駒ヶ岳周辺の概要、火山の知識、駒ヶ岳火山の地形・地質、
駒ヶ岳の火山災害危険予測図、北海道駒ヶ岳火山防災協議会
および啓発事業の歩み、噴火の記録

北海道駒ヶ岳火山防災協議会

目 次

第1章 序論

- 1.1 作成の目的 巻末1- 1
- 1.2 本冊子の構成 巻末1- 1

第2章 駒ヶ岳周辺の概要

- 2.1 位置・行政区画 巻末2- 1
- 2.2 自然条件 巻末2- 2
- 2.3 社会条件 巻末2- 7

第3章 火山の知識

- 3.1 北海道の活火山 巻末3- 1
- 3.2 火山現象と用語の説明 巻末3- 2
- 3.3 火山情報と避難広報 巻末3- 6
- 3.4 火山防災に関する機関 巻末3- 8
- 3.5 火山防災の日 巻末3- 8

第4章 駒ヶ岳火山の地形・地質

- 4.1 概説 巻末4- 1
- 4.2 火山地形 巻末4- 4
- 4.3 駒ヶ岳の活動史 巻末4-10
- 4.4 歴史時代の噴出物 巻末4-16
- 4.5 歴史時代の小噴火 巻末4-42
- 4.6 参考文献 巻末4-53

第5章 駒ヶ岳の火山災害危険予測図

- 5.1 噴火の特徴 巻末5- 1
- 5.2 火山災害危険区域予測図の内容 巻末5- 5
- 5.3 火砕流・火砕サージの火山災害危険区域予測図 巻末5- 6
- 5.4 降下火砕物の火山災害危険区域予測図 巻末5- 8
- 5.5 降雨型泥流・融雪型泥流の火山災害危険区域予測図 巻末5-10
- 5.6 岩屑なだれの火山災害危険予測図 巻末5-12

第6章 駒ヶ岳火山防災会議協議会および啓発事業の歩み

- 6.1 駒ヶ岳火山防災会議協議会の発足 巻末6- 1
- 6.2 駒ヶ岳火山噴火地域防災計画制定と日本初のハザードマップ 巻末6- 1
- 6.3 住民配布用の「防災ポスター」と「防災ガイドブック」の作成 .. 巻末6- 3
- 6.4 そのほかの啓発活動 巻末6- 4
- 6.5 古くて新しいハザードマップ 巻末6- 6

第7章 噴火の記録

- 7.1 寛永17年(1640年)の噴火 巻末7- 1
- 7.2 元禄7年(1694年)の噴火 巻末7- 3

7.3	明和2年(1765年)の噴火		巻末7- 4
7.4	安政3年(1856年)の噴火		巻末7- 4
7.5	明治21年(1888年)の噴火		巻末7-10
7.6	明治38年(1905年)の噴火		巻末7-10
7.7	大正8～13年(1919、1922、1923、1924年)の小噴火		巻末7-12
7.8	昭和4年(1929年)の噴火		巻末7-13

第 1 章

序 論

1 序論

1.1 作成の目的

この巻末資料は、駒ヶ岳火山および駒ヶ岳周辺を理解するために作成した。特に1970年に北海道防災会議が発行した「駒ヶ岳」以降の研究成果(主に地質)をまとめたものである。また、防災計画の基本となる火山災害危険予測図について、設定条件や作成手法などをまとめた。

北海道駒ヶ岳火山避難計画を理解するうえで、この巻末資料を参照されたい。

1.2 本冊子の構成

本冊子は7つの章で構成されており、基本的に、各章で完結する内容とした。

1章	序論	作成の目的	本冊子の構成
2章	駒ヶ岳周辺の概要	位置・行政区間	自然条件 ・地勢 ・気候 ・特殊気候 ・火山性地震 社会条件 ・町の人口及び世帯数 ・駒ヶ岳周辺の人口 ・交通 ・自動車保有台数 ・観光入込客数
3章	火山の知識	北海道の活火山	火山現象と用語の説明 火山情報と避難広報 ・火山情報の種類 ・避難広報の種類 火山防災に関する機関 ・北海道防災会議 ・火山噴火予知連絡会
4章	駒ヶ岳火山の地形・地質	概説 火山地形 ・山頂部 ・山体斜面 ・山麓部	駒ヶ岳の活動史 ・先歴史噴火と歴史時代噴火 ・濁川カルデラの噴火と白頭山の噴火 歴史時代の噴出物 ・1640・1694・1856・1929・1942年の噴火 歴史時代の小噴火 ・過去の小噴火 ・最近の活動
5章	災害危険予測図	噴火の特徴 ・噴火規模 ・噴火間隔 ・噴火の場所 ・各噴火現象の特徴 ・前兆現象 ・噴火継続時間	危険区域予測図の内容 ・想定した噴火 ・想定した火口位置 ・作成図面 火砕流・火砕サージの危険区域予測図 降下火砕物の危険区域予測図 降雨型泥流・融雪型泥流の危険区域予測図 岩屑なだれの危険区域予測図
6章	協議会	協議会の発足 防災計画と日本初のハザードマップ	防災ポスターと防災ガイドブックの作成 その他の啓発活動 古くて新しいハザードマップ
7章	記録	噴火の記録（古文書など）	